

〔野菜関係〕

1 雨よけトマトにおける連続2段摘心栽培法

—つる下げ省略効果と栽植様式—

(園試野菜・花き部)

連続二段摘心栽培によって、収穫打ち切り時における草丈は慣行栽培の60%程度、管理作業時間が約20%軽減できる。

a 当り株数は、慣行と同じ250株程度とし、1条植とする。適応地域は県下全域。

(1) 背景とねらい

トマトの雨よけ栽培は比較的長期間にわたって栽培されるため3~4回つる下げ作業を行っている。このつる下げ作業は労力を多く要し、しかもトマトの生育、果実肥大等にもマイナスとなっている。

そこで千葉県で主に越冬長期どり栽培用に開発した連続2段摘心栽培法を雨よけ栽培に導入し、つる下げの可否および栽植様式について検討した。

その結果、この栽培法による省力効果および栽植様式が判明したので指導上の参考に供する。

(2) 技術内容

1) 連続2段摘心栽培の整枝法は第1花房直下の側枝のみ残し、第2花房の上2葉で摘心することをくりかえす。(図-1)

2) この栽培法は枝のねん枝に特徴があり、ねん枝時期は2段果房目が花~幼果の頃とする。

ねん枝の程度はねん枝後果実の肥大で枝が垂れ下がるよう、半分位枝が傾く程度でよい。

3) 収穫打ち切り時における草丈は慣行栽培の60%程度でつる下げ作業が省略できる。

これにともない整枝等に関連する管理作業時間が約20%軽減できる。

4) a 当り株数は慣行と同じ250株程度とするが、1条植とする。

5) 適応地域 県下全域

(3) 指導上の留意事項

1) 間口5.4mのパイプハウスを使用した場合の栽植様式は、うね幅135cm、株間30cm 1条植とする。

2) ねん枝による枝折れを防ぐため、ねん枝作業は晴天の午後の時間滞が望ましい。

3) 下位節の茎葉が混みやすいので、収穫終了後の下位側枝は切除する。

(4) 当該事項にかかわる試験研究課題名

雨よけトマトにおける連続2段摘心栽培の栽植様式

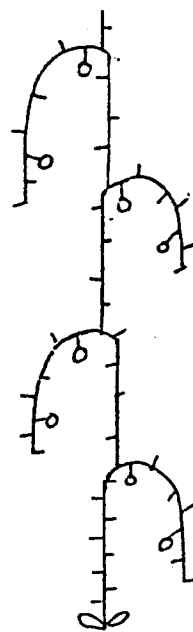


図-1
連続2段摘心栽培

(5) 参考文献・資料

- 1) トマトの新整枝法「連続摘心整枝」 56年 園学講 千葉農試
- 2) 昭57. 岩手園試野菜試験成績書

(6) 試験成績の概要

表-1 整枝関連作業の投下労働時間 (60株当り)

作業名	連続2段摘心栽培		慣行栽培	
	回数	時間	回数	時間
つる下げ	-	-	3	4.12
芽かき誘引	26	5.02	19	3.45
摘葉	2	0.42	4	0.90
摘心	1	0.17	1	0.17
ねん枝	6	1.20	-	-
計		6.81		8.64
対比		79		100

表-2 生育調査

項目	5月4日		6月16日			10月15日	
	草丈	葉数	草丈	葉数	茎径	草丈	茎径
① 株間30cm区	27.4 ^{cm}	7.7	123.6 ^{cm}	13.4	1.7 ^{cm}	257.8 ^{cm}	1.5 ^{cm}
② " 40cm区	28.1	7.9	121.4	15.0	1.9	280.0	1.9
③ " 50cm区	26.3	7.6	127.6	14.6	1.8	259.2	2.0
④ うね幅180cm区	26.9	6.9	129.6	14.8	1.8	218.0	1.8
⑤ 慣行区	24.4	7.7	125.0	17.0	1.7	423.0	2.0

試験区①~③はうね幅135cm 1条植、④は株間30cm 1条植、⑤の慣行区はうね幅180cm 株間45cm 2条植

表-3 規格別収量 (a当り)

規格別	LL (280g以上)		L (210~280)		M (180~210)		S (150~180)		SS (120~150)		格外 (120g以下)	
	個数	重量	個数	重量	個数	重量	個数	重量	個数	重量	個数	重量
株間30cm区	737	225.6 ^{kg}	1,243	289.4 ^{kg}	1,321	258.1 ^{kg}	1,326	214.5 ^{kg}	1,338	180.7 ^{kg}	1,540	151.9 ^{kg}
" 40cm区	755	249.7	1,153	280.6	913	168.7	980	161.6	962	130.7	1,107	104.5
" 50cm区	597	208.7	913	222.0	683	135.4	767	125.6	671	91.0	1,071	97.4
うね幅180cm区	543	174.5	983.6	240.2	937	184.7	1,159	190.2	1,150	155.1	1,665	159.7
慣行区	552	184.4	1,239	300.5	1,140	222.1	1,181	193.7	1,128	157.0	1,317	127.2

表-4 時期別収量 (a 当り)

時期別 試験区	6		7			8			9			10	
	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	
株間 30 cm 区	2.9 ^{kg}	143.7 ^{kg}	327.7 ^{kg}	175.4 ^{kg}	160.5 ^{kg}	134.6 ^{kg}	68.3 ^{kg}	67.1 ^{kg}	35.4 ^{kg}	42.4 ^{kg}	7.4 ^{kg}	4.9 ^{kg}	
“ 40 cm 区	5.9	127.0	238.3	122.7	131.0	146.8	75.5	60.7	45.0	29.3	8.3	3.7	
“ 50 cm 区	5.4	107.5	195.9	101.4	97.2	122.6	46.4	38.7	31.3	21.7	12.3	3.0	
うね幅180cm区	4.3	111.0	199.8	150.5	132.9	138.7	65.7	40.4	35.8	39.8	21.6	4.6	
慣行区	2.9	136.7	211.2	143.3	135.8	78.2	175.8	34.2	52.3	55.6	12.8	13.6	

表-5 収量 (60株当り)

項目 試験区	良果		格外果		合計		1個平均重		障害果 (個数)				a当り 収量	収量 比
	個数	重量	個数	重量	個数	重量	良果	合計	変形果	裂果	空洞果	病果		
① 株間 30cm区	1,449	284 ^{kg}	374	37 ^{kg}	1,823	321 ^g	196 ^g	177 ^g	71	245	325	11	1,169 ^{kg}	111
② “ 40cm区	1,545	322	359	34	1,888	352	208	186	113	271	457	13	993	94
③ “ 50cm区	1,472	317	434	39	1,906	356	215	187	147	312	514	22	782	74
④ うね幅180cm区	1,548	307	540	52	2,088	359	198	172	137	180	281	10	947	90
⑤ 慣行区	1,273	256	320	31	1,593	287	201	180	163	146	195	16	1,054	100